

62軒訪問し、91筆の署名とる！合築のデメリット話して運動を広げよう！！

引き続き行われた豊島区の庁舎問題を考える連絡会の決起集会では、はじめに渡辺くみ子共産党区議より庁舎問題のポイントについて簡潔な報告がなされ、7人の参加者からの発言がありました。「区側の態度は何が何でも決められたスケジュール通り進めようとするもので、住民の意見に耳を貸さない態度だ」「署名や声を広げて区の態度を変えていこう」との確認をして終了しました。

市街地再開発手法は区民の声を反映できない要因に！

「区民に必要な情報を知らされていない。6月20日に市街地再開発組合の総会があり、そこで建物の床の価格の元になる基準が決定されているにもかかわらず、区議会には報告されない。本来出せる資料にもかかわらず、要求しても反対運動をしている議員には資料はだせない

との回答。これは市街地再開発法にも抵触する重大な問題であり、このように肝心なことが区民に知らされずに進められることは、区民の共有財産である区庁舎建設に区民の意見を取り入れられなくしている大きな要因である。」

(渡辺くみ子議員より)

<発言から>

知らない人が多い もっと宣伝と対話を！

「反対の宣伝を行ったが知らない人が多い。ポスターを見て、町の人にはマンション反対をしているのかと思っている。もっと話をしてゆく必要がある」

大きな修繕には財政的負担 管理組合をまとめるのは大変！

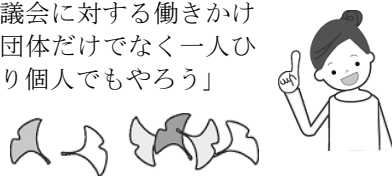
「区の資料には具体例がない。20年～30年したら大きな補修が必要、そのときに必ず財政的に問題が出てくる。区の掲げている基本方針がかなえられないのでは、大きな修繕には管理組合の同意が必要であり、まとめることは大変だと思う」

三つの地域で学習会、 500名を目標に取り組んでいる

「自分の地域の三つのところで学習をやった。区の広報が出た日から集めて、一日半で62件訪問し、91筆の署名をもらった。現在320筆集めている」とM区議。

議員に対する働きかけを、 個人個人が！

「議会に対する働きかけを団体だけでなく一人ひとり個人でもやろう」



予定のお金は集まるか不安定、区の説明はデメリットを話さない、結局は区民に負担が！ 我々がデメリットを突いていこう！

「地域を回っている。一箇所に5枚おいできている。3万名集めるためには集める人を増やす必要がある。定期借地では安定したお金は集まらない（お金ができない）そうなのでも区長も区の関係者も責任は取らない、結局区民の負担になる。庁舎移転条例が出せないよう説明会で皆で声を出そう」

「今日の区への対応は不誠実で基本的になっていない。再開発組合との交渉も必要では。今日の説明会でわかった事は、パソコンを使っての夢のような話でしかない。合築のデメリットは絶対話さない。我々は合築のデメリットを突いていこう」

署名は印の必要なし、区外でもオーケー、説明会には皆でいこう！ (山口事務局長より提起)

- * 署名は11月15日まで。(webでダウンロードできます)
<http://www.toshima.ne.jp/~hunesora/index.htm>
- * 印鑑は必要ありません。
- * 豊島区民以外でも良いです。
- * 明日からの説明会にはみんなが参加して反対と発言しましょう。
- * 会のニュースを会場で配布する場合は二人以上で配りましょう。
- * ポスターをもっと張り出しましょう。

※“jp”の後の“~”は「チルド」という記号です。



共通スローガン 「区民のための区庁舎建設を」

一口宣伝スポット

- 合築では将来の建て替えができません。このままでは子どもたち、孫たちに「大きな負担」を残すこととなります。
- 資金計画は不安定で、無責任です。(2年間で47億も増えた資金計画、50年貸付でダメなら100年とくるくる変わる区の態度)
- 区民のためでなく儲けるのはマンション業者です。
- 庁舎のひろばは狭くて大震災の時には庁舎とマンションの全員は避難できません。
- 超高層・合築は区民の合意無しに一方的に進められています。区民の声を取り入れて再検討させましょう。